

第 99 回 薬剤師国家試験問題検討委員会「実務部会」報告書

日 時 平成 26 年 5 月 23 日 (金) 13:00 ~ 16:30
場 所 神戸学院大学薬学部 ポートアイランドキャンパス

平成26年5月30日

出席者	私立大学	55校	75名
	国公立大学	15校	15名
	計	70校	90名

委員長名	徳山 尚吾
所属大学名	神戸学院大学

1. 総合評価

- ・問題作成において「実務実習」を意識して作成されたものが多く、この点は評価される。
- ・しかしながら、添付文書、教科書レベルを超えた内容の出題も多くみられた。
- ・さらに、発売 2 年以内の薬剤、適応外使用、薬物治療においてガイドラインと添付文書の内容がマッチしていないものなども出題されていた。大学終了時点の薬剤師候補生に対する資格試験として適当な問題なのかどうかを問う声も多く聞かれた。
- ・その他、出題領域の片寄り（腫瘍、抗がん剤）がみられた。
- ・問題の複合性については、年々改善されているものの、依然として「出題分野による問題の難易度差がある」、「複合問題の複合性の適正」などがみられた。
- ・したがって、出題範囲等を明確に提示するなどの対応が望まれる。

2. 各項目の評価

1)「誤りがあると判断された問題」

問206：フルバスタチンナトリウムは就寝前ではなく、夕食後に服用する。

処方箋の記載を添付文書に記載されている用法・用量に統一すべきである。

問234：「シクロホスファミドは閉鎖式調製器具にしなければいけない」との表現は、限定的で不適切である。根拠となるガイドライン等があるのか、現実との乖離をどう考えるのか？

問345：炭酸リチウムは、過量投与時には利尿薬（マンニトール、アミノフィリン等）を投与して排泄を促進させるが、チアジド系やループ利尿薬の併用によって、腎での再吸収が促進され血中濃度が上昇するので併用注意である。利尿薬が特定できないので、不正解とも解釈できる。

2)「問題の観点から不適切である問題」

問84：実務の出題基準には無く、法規制度倫理領域の問題。

問86：OSCEでも実務実習でも机に90度配置は実施していない。現実と異なることを出題するのは不適切と考えられる。

薬局においてはカウンター越しに対面で面談するのが一般的なので、この設問は、現状の我が国における薬局服薬指導のスタイルを否定するものであるとも言える。

問87：実務の必須問題としては難問過ぎて不適切である。

問90：実務の必須問題としては難問過ぎて不適切である。

問196：実務において白濁の原因を判断するのは難しく、難易度が高い。

問200：小児に対する安全性が確立されていないので、症例を小児にしないほうがよかったのではないかと。粉碎の可否を判断させるのは難易度が高いと思われる。

イトラコナゾールカプセルをカンジダ予防のために用いるため空腹時という答えを導かせているが、学生には難易度が高いのではないかと。

1, 4 を相互作用に関する選択肢にすれば、よりよい問題となったのではないかと。

問202：処方の記載が厚労省の移行期間のものになっているが「在るべき姿」で出題すべきである。

問204：PET検査に薬剤師が関わることは非常に少なく、実務の問題としては、現時点では難しい。

問208：プレガバリンのような神経障害性疼痛治療薬を選択肢に入れても良かったかもしれない。

問216：テリパラチドは骨粗鬆症薬の中でも販売実績は大きくなく、この薬に関して、保存方法を問うのは不適切と思われる。

問218：選択肢1「めまい等」を選択させるのであれば、血管拡張剤を入れるべきではないか。

選択肢5：スピロラク톤の副作用には電解質異常による脱力感の他、四肢しびれ肝、筋痙れんなどが報告されている。

またフロセミドにも同様な報告がある。（添付文書より）

選択肢2：ラクツロースによる腹痛もある。

問228：特定健康食品の個々の成分についての詳細まで授業で教えていない大学が約1/3あり、成分まで問うことは疑問である。

問232：医師が通常「ワン・フィンガー・チップ・ユニット」と言う言い方で指導を行っているのか疑問である。

問234：添付文書に記載がなく、指導している大学と指導していない大学で差がつく問題。また、実務実習先での指導によっても差がでる。閉鎖式調製器具を問うことに問題がある。

問237：問診の重要性を問う点では新傾向で良問であるが、リード問題の背景(季節、全員が嘔吐する等)が現実的ではない。

問238：3-ヨードベンジルグアニジン(123I)はパーキンソン病診断に対する添付文書上の適応はなく、教科書に記載がないような問題や適応外使用を問題にするべきではない。

問241：選択肢1. 3. 5が明らかな誤りと考えられる。

問248：併用注意までを問う問題は適切ではない。

問249：処方薬が合剤なので、注意を要する薬剤として一剤を問うのは問題がある。

問251：問題文の背景に問題がある。六君子湯ありきの問題になっている。シナリオと設問に飛躍がみられる。

問253：併用注意までを問う問題は適切ではない。シナリオと設問に飛躍が見られる。エリスロマイシンの内服をやけどの治療に用いるのは一般的でない。

問255：国家試験の問題として「最も低い」という表現が適切ではない。一つ一つの既往歴について尋ねるのは現実的ではない。この製品について詳しく知らないといけなないので難易度が高い。

問258：医師に推奨すべき、という表現は適切でない。

問268：添付文書では、フェキソフェナジンのみ自動車運転注意・禁止がないが、眠気は2.3%、エバスチンの眠気は1.7%である。国家試験問題としては不適。

問278：ヒルドイドローションのアトピー性皮膚炎に伴う乾皮症への使用は適用外使用となるため、国家試験問題として妥当かどうかは疑問である。

問284：特殊な薬剤であり難問すぎる。

問288：アミノレバンを実習で触れて無くても、肝不全の薬として塑性も欠いてあるので問題として解けるのでは。

問293：アジソン病に対する投与設計を問うのは、難易度が高すぎる。

問301：処方内容として、ガイドラインに沿っていないのではないかとされている。

薬物治療の領域でも（問300）イリノテカンが適かどうかと言われている。

問303：今までもメタアナリシスの問題は出されていたが、別の領域での問題であったのが、今回は実務で出されている。

問318：最初の対応というところが、どの時点であるか。というところが不明確であり、最初として適切なものを選択する根拠が難しい。

問334：ニザチジンの添付文書にはイトラコナゾールに関する記述はない。イトラコナゾールの添付文書には併用注意としてH2遮断薬、プロトンポンプ遮断薬が記載されている。

問344：学生にとっては難問と思われる。

3)「問題・選択肢の表現が不適切である問題」

問81：選択肢2 「調剤年月日」が誤り、正しくは「調剤済年月日」

問82：選択肢3 ヨウ化カリウムの処方是非現実的。

問83：問題の「医療用医薬品の有効成分が転用された」という語を受ければ、ダイレクトOTCも正解の可能性がある。

問84：設問4のペニシリンを薬害の問題の中に入れることが不適切。

問200：特殊な製剤ならば粉碎できないことを知っておく必要があるが、この製剤に関して判断するのは難しい。

問204：戦略的に今後、かかわっていく必要があるということであれば、もう少し基本的な事項を取り上げるべきではないか。

問215：「非温感」は、通常使用されている用語ではない。

問216：テリパラチドは骨粗鬆症薬の中でも販売実績は大きくなく、この薬に関して、保存方法を問うのは不適切と思われる。

問218：選択肢1「めまい等」を選択させるのであれば、血管拡張剤を入れるべきではないか。

選択肢5：スピロラク톤の副作用には電解質異常による脱力感の他、四肢しびれ肝、筋痙れんなどが報告されている。またフロセミドにも同様な報告がある。（添付文書より）

選択肢2：ラクツロースによる腹痛もある。

問222：欧米ではホリナートを使っており、日本ではレボホリナートを使っているが、不適切な表現ではない。

問224：用法の記述に紛らわしい部分がある。処方薬と用法が同じ位置から記載してあるのが、解りづらい。

問227：MCVまで表記する必要はない。表記するのならMCHも必要ではないか。

問228：設問形式が CBT 問題レベルになっており、易しすぎる。

問232：専門的過ぎる。3mmのダニに使用する量としては多すぎる。

「ワン・フィンガー・チップ・ユニット」のみを問うのではなく、薬剤の選択や使用法の注意を問うべきである。

問237：選択肢から判断すると問236の回答が限定されるため、選択肢を考慮するべきである。

問241：問選択肢に持っていくためには、これ位のストーリーが必要かもしれないが、少し長い気がする。選択肢の「のどに噴霧」は現実離れの感がある。

問242：ピレノキシ点眼液にはOTC薬が無いので、この選択肢は不適切と思われる。

問248：テオフィリンの添付文書上は「マオウを含む製剤」とだけあり葛根湯とは記載されていない。葛根湯にマオウが入っていることを知っている必要があるが、そこまで問うのは難易度が高い。

問260：実務としては使用上の留意点のみを問うほうがよい。

問263：患者の「手足の皮膚が硬くひび割れがある」という表現から、カペシタビンの手足症候群を選択させる問題であると思うが、オキサリプラチンの副作用と混乱させる問題であり不適切である。

問268：択肢の中に第2世代抗ヒスタミン薬は、2, 3, 4が該当し、中枢抑制作用（眠気）の副作用が少ないことが特徴である。選択肢3のみが使用上の注意に「自動車の運転等危険を伴う機械の操作」に関する記述がない。しかし、眠気の副作用は報告されており、眠気の強度に優劣をつけることは相応しくない。

問276：アミノフィリン注射液ではなく、アミノフィリン水和物注射液という記載が望ましい。

問288：3の浸透圧の表現は教員には常識的だけれど、学生には何m lに溶かすのかという所が気になるのでは。

溶解容量を規定通り溶かさないこともあり、溶かす量が明らかでないのに問題として不適切では。

アミノレバンENがとても一般的であると言い切るわけにはいかないのではないか。

80℃の温度設定は不適切、お湯に溶いてが適切な文言なのでは。

問290：出題としてはクレマスチンとして1mgと書けばよいのではないか。別問題で容量を当問題（塩を外して計算）というのもあるので、それであれば、統一した書き方がよいのでは。

問293：補充療法というフルドロコルチゾンが浮かぶが、容量が違うので仕方なくヒドロコルチゾンを選ぶが、ヒドロコルチゾンにアジソン病の適応がないのに、選ばせるよりも、フルドロコルチゾンの正解を選ぶ問題の方が良いのではないか。

問294：平成23年4月に重篤副作用疾患別マニュアルに載ったものを使うのはどうか。しかし、重篤副作用疾患別対応マニュアルのような情報収集方法を知っているかを問うのであれば、問題ないのかも知れない。

問303：選択肢2において、「研究結果が不均一とはいえない」という二重否定の表現で文意をつかみにくい。枝問2の「不均一」という表現は分かりにくく「異質」の方が適切であった。「heterogeneity」の訳語が定着しておらず「heterogeneityがある」としてもよかつたのではないか。

問318：比較の問題で、選択肢1.2.4.5が明らかに誤りということで、選択肢3を選択できる。また、選択肢3を正解とするのにも、薬剤師の対応としてこれが適切であるという誤解を与える可能性があるのではないか。

問322：選択肢5『腎機能の低下』というのがどの程度かがわからない。乳酸カルシウムも腎不全時には禁忌であるため、選択肢の1つとしていれるのは不適切である。

問324：選択肢2は不適切。「・・・チームの一員として」とあるので、「外用薬の選択自体を薬剤師が行い、その使用方法を患者に説明した。」という意味ではないと読み取れるが、「外用薬の選択の理由と塗布方法について患者に説明した」等とする方が誤解は生じにくいと考える。

選択肢3は不適切。経口による投与が可能なのにTPNを提案するというのはあまりにもお粗末。選択肢を1つではなく、これを含めて2つ選ばせるようなものであれば、よかつたのではないか。

選択肢4は不適切。イリノテカンにより生じる下痢に対して半夏瀉心湯が有効である可能性を示唆する報告はあるが、確立された方法でなく、添付文書、インタビューフォームとも記載はない。添付文書に記載されていない内容を国家試験で問うことには問題があると思われる。

選択肢5は不適切。がん疼痛の薬物療法に関するガイドラインでは、「一律な緩下剤の予防投与は推奨していない」ので、「積極的な便秘予防対策」など、少し表現を変えた方が好ましいと考える。

問326：選択肢1の「暗号化」の表現が適切性を欠く。

問330：選択肢1の表現の適切性に問題あり。ディスペンサーの使用が普及しているか疑問。

問331：問題文「必ず」の表現が適切性を欠く。

問332：選択肢4に「睡眠導入として」などの記載が不足。

問338：設問前半部分の患者情報は、解答する上で不要である。

問345：選択肢1の内容が誤り。（利尿薬：チアジド系、ループ系はリチウムと併用注意）

4)「複合性が不適切な問題」

問196：197がpHの変化が原因と誘導させているようで、196の配合変化に関する答えを導くのが難しい。

問202：関節リウマチで使用されるMTXは、通常、TDMを実施しないので、実務との関連性が低いと考えられる。

問210：化学の問題はこの事例には全く関係しないと思われる。

問232：外用剤の使用量のみの問題なので、考える要素が少ない。

問256：前問が正解しないと後問が正解しない。その重みに見合う問題かどうか。

問268：問268を間違えると問269は正解できない。第2世代の抗ヒスタミン薬であるエバスチンを正解とすると、問269の正解は選択肢2となる。

問270：問270を間違えると問271は正解できない。問270の配点が大きいことを意味しているが、その重みに見合う重要な問題なのか。

問276：問275を間違えると問276は正解できない。問275の配点が大きいことを意味しているが、その重みに見合う意義のある問題なのか。

問278：問278と問279はリード文なしでも解答できる。

問290：こじつけのような感がある。

問301：問301はリード文がなくても、解答できる。

問305：体表面積などの提示がないのに、一日量を求めるのは無理があるのでは。

5)「授業で触れていない問題」

別紙1のとおり

その他特記事項

特になし

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

別紙1 第99回薬剤師国家試験問題「実務」部会 評価表

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
必須問題	81	1	68	0	0	69	0	2	67	0	2	67
	82	0	69	0	0	69	0	1	66	2	1	68
	83	0	69	0	0	68	1	2	66	1	0	69
	84	0	69	0	1	66	2	2	66	1	3	66
	85	0	69	0	1	68	0	1	68	0	1	68
	86	2	61	5	15	46	7	14	47	7	23	45
	87	0	68	0	2	59	7	1	67	0	17	51
	88	0	68	0	0	67	1	1	67	0	4	64
	89	0	68	0	0	68	0	2	65	1	3	65
	90	0	68	0	4	61	3	4	61	3	7	61
実践問題	326	0	68	2	3	62	5	6	58	6	10	60
	327	0	70	0	0	70	0	0	70	0	4	66
	328	15	47	8	7	52	11	20	38	12	11	59
	329	0	70	0	2	67	1	2	67	1	2	68
	330	1	69	0	2	68	0	4	64	0	5	65
	331	1	68	1	3	65	2	4	65	1	11	59
	332	2	67	1	3	66	1	3	66	1	7	63
	333	1	69	0	0	70	0	1	65	4	3	67
	334	1	68	1	7	59	4	3	62	5	14	56
	335	0	70	0	2	68	0	2	68	0	4	66
	336	0	69	0	0	69	0	1	68	0	14	55
	337	1	68	0	1	66	2	4	63	2	4	65
	338	0	68	1	0	67	2	4	64	1	3	66
	339	0	69	0	2	64	3	0	68	1	7	62
	340	0	69	0	0	69	0	3	64	2	3	66
	341	0	69	0	0	69	0	1	67	1	6	63
342	0	69	0	2	66	1	3	65	1	2	67	
343	0	69	0	0	68	1	4	63	2	6	63	
344	0	69	0	1	64	4	4	65	0	17	52	
345	2	65	2	0	67	2	8	58	3	10	59	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
	196	0	65	4	5	63	1	3	60	6	3	60	6	10	59
	198	0	69	0	4	62	3	3	64	2	1	63	5	19	50
	200	2	67	0	4	62	3	1	68	0	2	61	6	12	57
	202	0	69	0	1	68	0	2	67	0	4	60	5	6	63
	204	0	70	1	8	60	3	3	66	2	2	63	6	23	48
	206	3	63	0	0	69	0	2	67	0	2	62	5	3	66
	208	1	68	0	7	61	1	2	64	3	1	65	3	6	63
	210	0	67	1	1	65	2	7	60	1	2	58	8	7	61
	213	0	68	0	2	64	2	1	65	2	0	67	1	11	57
	215	3	65	0	1	67	0	1	65	2	0	68	0	2	66
	216	1	67	0	9	56	3	4	64	0	1	66	1	28	40
	218	1	65	2	0	67	1	8	57	3	0	64	4	7	61
	220	0	67	1	1	67	1	3	65	0	0	67	1	3	65
	222	0	67	1	4	63	1	5	63	0	1	65	2	11	57
	224	2	66	0	1	64	3	7	61	0	0	67	1	13	55
	227	0	70	0	3	67	0	4	64	2	2	66	2	4	66
	228	0	70	0	6	59	5	1	68	1	0	68	2	22	48
	231	0	70	0	0	70	0	0	70	0	0	69	1	3	67
	232	0	70	0	5	57	8	3	64	3	1	62	7	28	42
	234	3	66	1	4	64	2	7	62	1	1	67	2	15	55
	237	0	69	1	7	56	7	7	59	4	4	63	3	11	59
	238	1	69	1	7	56	7	4	63	4	2	63	6	36	35
	241	0	69	1	2	66	2	4	62	4	8	54	8	6	64
	242	0	67	2	1	65	3	3	66	0	0	67	2	14	55
	244	0	69	0	1	68	0	1	67	1	1	66	2	12	57
	246	2	66	1	11	50	8	5	61	3	0	66	3	26	43
	249	0	68	1	2	63	4	1	67	1	0	67	2	15	54
	251	0	70	0	2	63	5	3	65	2	2	64	4	15	55
	253	0	69	0	7	55	7	1	67	1	0	66	3	17	52
	255	1	67	1	5	59	5	8	57	4	0	65	4	22	47
	256	0	68	0	3	64	1	1	66	1	3	64	1	13	55
	258	0	68	0	4	62	2	0	68	0	3	61	4	7	61
	260	0	67	1	1	65	2	3	65	0	0	67	1	7	61

複合問題

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
	263	0	66	2	2	64	2	7	59	2	0	68	0	7	61
	264	0	68	0	0	66	2	2	65	1	0	68	0	13	55
	266	0	68	1	0	68	1	0	69	0	0	68	1	12	57
	268	0	69	0	3	64	2	2	67	0	1	65	3	9	60
	270	0	69	0	0	68	1	0	69	0	1	66	2	9	60
	272	1	68	0	6	58	5	0	68	1	0	68	1	7	62
	276	0	69	0	5	62	2	0	67	2	6	62	1	8	61
	277	1	67	0	1	67	0	5	63	0	2	64	2	5	63
	278	0	67	0	2	65	0	2	64	1	3	64	0	9	58
	280	0	67	0	3	61	3	1	66	0	3	63	1	11	56
	282	0	67	0	0	66	1	1	66	0	0	65	2	10	57
	284	1	66	0	2	64	1	2	65	0	0	65	2	21	46
	287	1	67	0	1	65	2	0	65	3	0	64	4	15	53
	288	0	68	1	2	66	1	6	62	1	0	67	2	14	55
	290	1	67	1	1	66	2	3	62	4	6	59	4	8	61
	293	1	66	2	6	55	8	3	61	5	0	64	5	18	51
	294	0	69	0	4	59	6	5	63	1	0	67	2	23	46
	296	1	67	0	2	66	0	2	65	1	1	67	0	5	63
	299	0	68	0	1	67	0	1	67	0	0	67	1	9	59
	301	1	66	1	6	60	2	3	65	0	3	62	3	12	56
	303	0	68	0	6	55	7	2	63	3	1	63	4	20	48
	305	0	68	0	1	66	1	3	64	1	0	64	4	8	60
	306	0	68	0	0	68	0	1	66	1	2	63	3	5	63
	308	1	67	0	0	66	2	2	64	2	0	65	3	4	64
	310	0	67	1	0	64	4	1	65	2	0	67	1	12	56
	312	0	67	1	1	67	0	1	66	1	3	65	0	10	58
	314	0	68	0	0	67	1	4	63	1	0	67	1	7	61
	316	0	67	0	0	66	1	0	65	2	0	64	3	4	63
	318	0	67	0	1	66	0	3	62	2	1	62	4	4	63
	320	0	67	0	1	65	1	0	66	1	1	64	2	4	63
	322	2	65	0	0	67	0	3	63	1	3	62	2	6	61
	324	0	66	1	2	63	2	6	58	3	1	62	4	4	63

複合問題

(注) 無回答:「わからない(判断できない)」を表す。また、数字は回答大学数である。